

# 付属資料

# 用語集

## ■あ行

用語	解説
あま市公共施設再配置計画 (P.4、18)	あま市公共施設等総合管理計画を推進していくために、老朽化した施設や機能・利用圏域の重複する施設の統廃合、複合化等に向けた実施プランとして策定した計画。
あま市公共施設等総合管理計画 (P.18)	本市が保有する公共施設の現状についてとりまとめ、更新費用の中長期的な見込みを立てた上で、持続可能な施設規模や管理方針など長期的な視点を持って更新・統廃合・長寿命化を実施することにより最適な配置の実現を図るための計画。
あま市人口ビジョン (P.8、9)	本市における人口の現状を分析、把握するとともに、人口に関する市民の認識を共有し、将来的にどのような方向を目指すべきか展望を示したもの。
あま市定員適正化計画 (P.6、10、11)	職員数について、これまでの推移とその要因、現在の状況と課題などを明らかにし、今後の定員管理の在り方について、基本指針、目標職員数、取組内容を定めた計画。
一般財源 (P.17)	国や地方公共団体において、使途に制約がない財源。
インフラ (P.4、6)	インフラストラクチャーの略で、水道や道路などの都市基盤。

## ■か行

用語	解説
合併特例措置 (P.6、11、17)	普通交付税の算定において、合併した市町村が不利益を被ることがないように合併後10年度間は合併前の市町村が別々に存在するものとみなし、国から交付税額を合算して交付される特例措置。 本市の場合、平成27年度から段階的に縮小し、令和2年度に終了している。
基金 (P.10、12)	地方公共団体が特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けた財産。家計でいう貯金にあたる。
協働 (P.2、17)	市民、地域組織、市民活動団体、事業者、行政等の様々な主体が、同じ目的のために役割を分担し、かつ補完し、ともに力を合わせて活動すること。
国勢調査 (P.8)	日本に居住する全ての人を対象として、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われている、国の最も基本的な統計調査。
コミュニケーションツール (P.18)	組織内で意思や情報の伝達のために使用するツール。チャットやオンライン会議などがある。

## ■さ行

用語	解説
市債 (P.10、12、17)	市が主に公共施設の整備などの建設事業を行うため、必要な資金を国や金融機関などから調達する借入金（借金）。
生産年齢人口 (P.6、9)	生産活動の中心にいる人口層。15歳以上65歳未満の人口がこれに該当する。

## ■た行

用語	解説
地方交付税 (P.6、10、11)	地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む住民にも一定の行政サービスができるよう、地方公共団体の財政状況に応じて国が配分する交付金。普通交付税と特別交付税がある。
中期財政計画 (P.10)	規律ある財政運営を行うため、守るべき財政規律（基準）や財政指標の目標値等を定め、財政の健全性を確保するとともに、今後の財政運営や予算編成の目標・指針とするための計画で、計画期間は3年としている。
長寿命化 (P.4、18)	公共施設を計画的に修繕することで、構造物の劣化進行を遅らせ、長期間使用すること。
テレワーク (P.19)	ICTを活用して、場所と時間を有効に活用できる柔軟な働き方。
電子申請 (P.18)	申請や届出などの行政手続きを、自宅のパソコンなどからインターネットを通じて、原則24時間・365日利用することができるシステム。
都市基盤 (P.7)	道路、公園、水路などの日常生活・都市活動の基盤となる施設。

## ■は行

用語	解説
働き方改革 (P.6、19)	働く方の置かれた個々の事情に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすること。
パブリックコメント (P.17、20)	市の基本的な施策などを策定するに当たり、事前に案を公表し、市民等からの意見を聴取すること。

## ■ら行

用語	解説
ライフサイクルコスト (P.18)	計画・設計・施工から、その施設の維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額。イニシャルコスト（導入経費）とランニングコスト（運用経費）に分けられる。

## ■わ行

用語	解説
ワーク・ライフ・バランス (P. 7)	やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域社会などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

## ■A～Z

用語	解説
AI (P. 18)	Artificial Intelligence (人工知能) の略。
ICT (P. 7、18)	Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。パソコン、インターネットなど、情報・通信に関する技術の総称。
RPA (P. 18)	Robotic Process Automation (ロボティック・プロセス・オートメーション) の略。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。